



三ツ矢塾メールマガジン NO.3

塾長だより

今年の夏は暑い日が続いていますが、塾生の皆さんにはいかがお過ごしでしょうか？

世界的にも異常気象で、冷夏のところ、猛暑のところ、大雨と早魃のところと本当におかしくなっています。

国連の気候変動に関する政府間協議機関によると、地球の気温は2050年までに0.5 ~ 2.5、2100年までに1.4 ~ 5.8 上昇し、最悪の場合、海面は2100年に現在より2m上昇するそうです。イギリスやオランダでは既に海面上昇の対策を講じているそうですが、まずはどこまで二酸化炭素の排出を抑えるのが先決です。

二酸化炭素は一旦放出されると、数百年単位で大気中に残置されてしまいます。

森林や海洋の二酸化炭素吸収力をいかに保持していくかも重要な課題です。

環境問題の難しいところは、世界の問題を自分の問題として捉えられるか、ということだと思います。

考えさせられることの多い、暑い一日でした。

三ツ矢塾ブロック報告

前回、三ツ矢塾伊勢ブロックを簡単に紹介させていただきましたが、引き続き伊勢ブロックの委員会活動について紹介させていただきます。

伊勢ブロックでは、小切間鉄郎ブロック長、西村正副ブロック長の下、5つの委員会が運営されています。

5つの委員会では、各委員会別に勉強会を開いています。



ここで各委員会のテーマや、正副委員長(事務長を含む)を紹介したいと思います。

第1委員会(教育・福祉問題)……………委員長=船谷哲司、副委員長=笠井誠

第2委員会(駅前・交通問題)……………委員長=清水裕嗣、副委員長=中村充喜

第3委員会(産業・雇用、集会交流問題)……委員長=田中通孝、副委員長=小林正幸

第4委員会(伊勢のまちの特色)……………委員長=河村明洋、副委員長=浦田眞

第5委員会(防災対策)……………委員長=小熊常弘、副委員長=鈴木健一

事務長……………山川勝弘

各委員会では、委員会別会議にて上記のテーマをさらに絞込みが行われました。

(会議の議事録などが必要な方は、事務局にお問い合わせ下さい)

塾生からの声

伊勢ブロック第2委員会って？

我々、伊勢ブロック第2委員会では「駅前問題・交通問題」をテーマに毎月1回程度の委員会を開催しております。5月に第2回検討会を開催し、各々が現在感じている伊勢の街の課題を提起し、それに対する課題、実現への方法を議論しています。同テーマは大変大きな問題であり、他組織でも今までに充分検討されてきた問題であるとは思いますが、「伊勢を想う気持ち」を持った我々が、互いの意見を出し合う中で刺激し勉強しながら、課題への切り口を探していけたらと思っております。幸いメンバーの年齢も職業も様々で、バラエティーに富んだ意見が多く、交換する中で共通の課題、新たな課題提起をしていけたらと思っております。他委員会・他は、他委員会・他ブロックとの交流も深め、情報交換する中で共通の課題、新たな課題提起をしていけたらと思っております。他委員会・他ブロックの方からも検討会への参加、ご意見いただけたらと思っております。また、行楽情報・おすすめスポット情報も募集しております。

伊勢ブロック第2委員会 中村充喜

塾生紹介

名前 所属ブロック 生年月日 自分自身を一言で紹介
好きなタレント 三ツ矢塾に入塾しての抱負を一言



柿本 和男
伊勢ブロック
昭和22年2月18日
南勢陸上クラブの会長、三重県マスターズ
陸上で100M、200Mを走っている
元気がとりの男です
明石家さんま・五木ひろし
伊勢を活性化するために皆様と一緒に
考えてみたい。



岡島 治美
伊勢ブロック
昭和57年12月21日
思いついた事は即実行しないと
気がすまない！好奇心旺盛！？
窪塚 洋介・ベッカム
地域の事をもっと勉強したいです。
まだまだ分からないことがいっぱい。

これからも塾生の皆さんをどんどんご紹介しています。ご希望の方は総括事務局まで写真を添えてお願いします。

一読・一得(夏場の健康管理)

暑いとどうしても、水分を頻繁にとったり、ガブ飲みしがちではありませんか？
しかし、それは、疲労を増す原因となります。日常1日2～3リットルの水分を飲食物からとり、
ほぼ同量の水分や汗や便として出しています。このバランスがとれているときには、
健康で生活できるのです。ところが暑さのせいで水をガブ飲みした場合、
我々の体内の血液のなかには、一般的に水分が増え、
塩分その他ミネラルの血液濃度が
低下するため、心臓に余分の負担をかけてしまうことになります。
夏場は疲れやすくなるというのも、こういうところに原因があります。
今日から、水のガブ飲みや食物(食中毒等)に充分注意するとともに
充分睡眠をとって、元気に夏場を切り抜けられるようにしましょう！



名所紹介Vol. 3「伊勢倉田山公園野球場、くまのスタジアム」

俳句の夏の季語としても甲子園が用いられているように、高校野球と言うのは夏の風物詩であり、今の季節に
ぴったりの似合う言葉である。そして私達日本人にとって、野球というのは単なるスポーツの種目として存する
だけでなく、時代とともに大衆が築き上げた文化とさえも考えられる。さて、今回はこの野球に関する名所という
ことで、二つの野球場を紹介したいと思います。



皇學館大学がある倉田山、そこに伊勢球場(伊勢倉田山公園野球場)はあ
る。写真からもわかるように緑の多い郊外の静かな公園です。球場の門で
は、伊勢にゆかりのある沢村栄治と西村幸生の銅像がお出迎えしてくれ
ます。日本のプロ野球を築き上げたともいえるこの二人が伊勢出身であるこ
とは、私達にはとても誇らしい事である。そして、球場の中に入ると、新しさ、
華やかさには若干欠ける物はあるが、逆に伝統なる雰囲気が出ている気が
する。そして、たまに聞こえる野鳥の声を聞きながら、野球を楽しむことが
できればそれはもう最高の週末となるでしょう。

今度は、この伊勢球場とは対照的な熊野スタジアムを紹介しましょう。熊
野スタジアムは平成14年6月に完成した新しいスタジアムで、翼100m、
中堅122m、収容可能数6500人である。さらに、雨天練習場、シャ
ワールーム、会議室などが完備している三重県下で最高の設備を誇る
本格的な野球場です。また、正式名称が山崎運動公園内熊野スタジア
ムとあるように、野球だけでなくサッカー、ラグビー、テニスなどのスポ
ーツもできる施設が整っています。実際、ソフトボールはシドニーオリンピ
ックの銀メダルメンバーの多くが熊野に集結し、キャンプをおこなって
いたそうだ。また、去年、今年とプロ野球のウエスタンリーグの試合もこの球
場で行われており、まさに日本が誇るスポーツ施設と言えるのではない
でしょうか。



総括事務局より

毎日気温が30 を超えるという、とっても暑い日が続きますね。
事務局のスタッフはバテバテです…(+_+)
最近は週末になると、どこからともなく花火の「ドォーン」という大きな音が聞こえてきます。浴衣を着て、かき氷を食べて、花火に見とれて…
他にも様々なイベントもあります。何事にも積極的に参加し、暑い夏を熱い夏にしよう！！

三ツ矢塾統括事務局

〒516-0073 伊勢市吹上2-8-23

TEL 0596-21-0328 FAX 0596-21-1328

HP <http://www3.ocn.ne.jp/mitsuya/>

MAIL mitsuya1@siren.ocn.ne.jp

